



広島経済大学における Office 365 導入について ～学内ポータルと Office 365 認証の SSO 連携、活用事例～

★大学紹介★



広島経済大学は、1学部5学科の大学です。学生数は約3000名、教職員数は約200名となっています。窓の前の広場には、自由に利用できるパソコンを100台ほど設置しています。パソコン教室は大小合わせて20室あり、約700台のパソコンを設置しています。そのほか、教職員が利用するパソコンも含めると、約1300台程度のパソコンが存在します。

★Office 365 導入のきっかけ★

現在利用しているメールサーバのリプレース時期を迎えていた為メールサーバをそのままバージョンアップするか、Office 365 を新規導入するかの2者択一の検討を行いました。その時、平成26年8月に、広島県の安佐南区・八木地区で豪雨による土砂災害が発生しましたが、本校の土砂災害の影響は少なかったものの、度重なる停電が発生し学内サーバ室で運用しているメールサーバのデータディスクが故障してしまいました。BCP対策はとても大切だったということを改めて実感し、次期メールシステムはクラウドサービスであるOffice 365 を新規導入することに決定しました。



★シングルサインオンの壁★

Office 365 の導入に際して、ログイン認証に関して下記の2点に関して検討する必要性がありました。

1. 本校ではポータルサイトにログインすることで、メールシステムなどの下位システムに対してSSOを実現していました。そのため、メールシステムをOffice 365へ切替えてもポータル含めた既存システムの変更なし(または最小限の変更のみ)でSSOを実現する必要があること。
2. 学認の参加も踏まえてOffice 365で正式サポートされていたシボレス認証を利用したSSOを検討していましたがOneDriveやSkypeクライアントなどのデスクトップアプリケーションの利用等で制限がある問題。

★導入システム★

右に導入システム概念図を示します。

1. ディレクトリ同期で学内ADとAzureAD間のユーザ同期を行っています。停電や災害等など学内ネットワークとの通信が切断された場合でもADFS認証からクラウド上のAzureAD認証に切替えることで、Office 365の各種サービスを通常通り継続利用できます。
2. ADFSを利用してシボレス対応のWebシステムとSSOを行います。
3. 代理認証プロキシは、下記の機能を有しています。
 - ・ADFS(Office 365)への代理認証
 - ・パスワード変更・パスワードリマインダ
 - ・事前セッションCookieが必要なシステム用の簡易SSO
4. HyperVのレプリケーション機能を利用した冗長構成を行っています。

★Office 365 導入による効果★

1. Windows, Mac, スマホなど様々なデバイスからOffice 365が利用可能。
2. BCP対策ができた。
3. マイクロソフト包括ライセンス(OVS-ES)でOffice Professional Plusを契約していると学生と教職員のOfficeのライセンスが無償となる。
4. クライアントアプリはWindows Updateで自動的にバージョンアップ
5. 2014年12月より日本のデータセンターの稼働開始による安心感
6. (当初もっさりしていた)Webのレスポンスが速くなったと感じた。
7. マイクロソフトのサポートが、応答レスポンス含めて手厚い。
8. 一人あたりの容量がExchangeは50GB、OneDriveは1TBの利用。

★今後の展開★

1. シボレス認証の導入(学認やシボレス認証対応システムの導入)
2. OneDriveのさらなる活用(個人用領域やグループ用領域など)
3. ID管理(Office 365アカウント状態管理、メンバ管理)、認証ログ
4. セキュリティ強化

